

第1回 南砺市山村振興計画策定委員会 議事録

日時 : 平成27年10月20日 (火) PM 2:00 ~4:00

場所 : 南砺市役所城端庁舎 2F 202会議室

出席者 18名

委員

No.	役職	分野	所属・加盟団体	氏名
1	委員	地域代表	平地域自治振興会長	南田 実
2	委員	地域代表	上平地域自治振興会長	羽馬信夫
3	委員	地域代表	利賀地域自治振興会長	北田耕三
4	委員	地域代表	城端(菘谷)地区自治振興会長	谷崎 猛
5	委員	地域代表	福光(西太美)地区自治振興会長	堀 郁夫
6	委員	地域代表	福光(太美山)地区自治振興会長	上坂甚誠
7	委員	農業	公益財団法人五箇山農業公社 職員	道端昌子
8	委員	農業	公益財団法人利賀村農業公社 事務局長	渋谷 均
9	委員	林業	富山県西部森林組合 業務部 部長	森田義昭
10	委員	公募	グリーンツーリズムとやま 事務局長	太田すみ
11	委員	公募	ゆかたーず 代表	前田久美子
12	委員	公募	一般社団法人moribio 代表	江尻美佐子
13	委員	行政	南砺市産業経済部 部長	原田 司

事務局

南砺市産業経済部 農林課	南砺市産業経済部農林課 課長	芝井 広
	南砺市産業経済部農林課 農産振興係 係長	宮下 秀明
	南砺市産業経済部農林課 農産振興係 主査	青能 剛
(株)上智	(株)上智 設計計測部設計課 技師長	木戸耕作
	(株)上智 設計計測部設計課 上級技師	長徳紀章

欠席者 0名

傍聴者 0名

次第

1. 開会
2. あいさつ(市)
3. 委員の紹介
4. 委員長・副委員長の選出
5. あいさつ(委員長)
6. 協議事項
 - (1) 計画策定にあたって
 - (2) 計画書構成及び計画書草案について
 - (3) 今後のスケジュールについて
 - (4) 山村活性化支援交付金について
 - (5) その他
7. 閉会

<p>事務局</p> <p>原田</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご苦勞様でございます。まだ2, 3名の方がお見えになっていないようですが、遅れてくるという連絡を聞いております。定刻になりましたので、始めたいと思います。皆様方におかれましては、本日はお忙しいなか、出席していただきましてありがとうございます。ご案内致しましたとおり、ただいまより第1回南砺市山村振興計画策定委員会を開催致したいと思っております。本日の進行を努めさせていただきます南砺市農林課長の芝井でございます。どうかよろしくお願い致します。はじめに、南砺市産業経済部長の原田の方からご挨拶を申し上げます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・私も委員の中に入っておりますが、冒頭から始めるにあたりまして一言挨拶をさせていただきます。ご案内のとおり今回集まってもらいましたのは、山村振興計画を南砺市として策定させていただきたいということでございます。これにつきましては山村振興法に基づく計画策定をし、俗に言う条件不利地の地域での産業振興、雇用確保さらには山や里の保有資源の有効利用を図っていくために計画の策定をさせていただきたいというものでございます。合併前につきましては6地域におきましてそれぞれ個別に山村振興計画を策定していた経緯がございます。今回、これを1つにまとめ、南砺市の山村振興計画として策定をさせていただきたいというものでございます。ただし、地域それぞれのいろいろな特色等が違いますので、それらはそれらで書き込みをしっかりとして地域に根付いた山村振興計画にしていきたいと思っております。この振興計画が策定された後、振興計画に基づいて、国等から有利な補助金が入る予定でございます。100%の補助金も入ってきますので、地域で本当に何が必要なのか、こういうことをすれば、俗に言うスモールビジネスが育つか、地域が豊かになるのか、そういうこともご意見を頂きながら計画を策定させていただきたいと思っております。今回は、地域それぞれを代表する振興会長さん、関係する各種団体の方、さらには3名の公募委員の方々に加わっていただき、しっかりみなさんのご意見を伺いながらとりまとめをしていきたいと考えております。最終的には今年度の3月までには完成させて議会や条例にも伺い、来年度から実施したいということでございます。皆様方の貴重なご意見ぜひ頂きましてしっかりとした計画を策定したいと思っております。よろしくお願い致します。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どうもありがとうございました。それでは次第に基づきまして順次進めていきたいと思っております。その前に資料の確認でございます。次第、資料1～4までありますので確認頂ければと思います。よろしいでしょうか。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、次第に基づきまして3番目の委員の紹介ということで、次第をめぐってもらいまして1ページの方に委員の名簿がございますので名簿順に私の方からご紹介して頂きたいと思っております。 <p>(委員の紹介、事務局の紹介)</p>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・続きまして委員長、副委員長の選出でございますが、それに先立ちまして次第の2ページの方に南砺市山村振興計画策定委員会設置要綱を付けております。この会の設置を正式に定めたものでございます。 <p>(設置要綱について説明)</p>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第5条に基づきまして委員長、副委員長の選出でございますが、委員のなかからの互選ということになっております。どのように諮ればいいのかということでございますが、もしよければ事務局の方で腹案をもっていますが、そのような形にして頂けますでしょうか。 ・異議なし
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どうもありがとうございます。それでは発表させていただきます。名簿の6番目に書いてあります福光（太美山）地区自治振興会長でございます上坂様に委員長をお願いしたいと思います。よろしくお願い致します。副委員長につきましては、委員長の方から指名となっておりますので、上坂様よろしくお願い致します。

上坂 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・副委員長は、南田様にお願いしたいと思います。 ・副委員長は南田様ということで、ご了解を頂ければ拍手をもって承認お願いします。(拍手)
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。それでは早々ではございますが委員長からご挨拶の方よろしくお願い致します。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・皆様方からご指名頂いたことは、心から感謝を申し上げます。人力はありませんけれども、こうなった以上は精一杯皆様の邪魔にならないように努めさせていただきます。私の歴を要約させて頂きますと太美山自治振興会の書記を10年努めさせていただいて、しばらく空いてから振興会長8年目を迎えております。その間を見ていますと、昔の人は元気がありました。だけど最近、年々元気がない地区となっています。それでも何かないかということで、何でも取り組んでいまして、それも限界に近づいてきている状況です。このお話をお聞きしていろいろな方に支援して頂けるということで、本当にうれしく思っています。これでいいアイデアが出れば地域もまた活気が出るのではないかと期待しております。ぜひ皆様方のご支援ご協力ですばらしい計画となるよう心から祈念申し上げまして、簡単ですが挨拶と代えさせていただきます。
事務局 副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。南田様お願いします。 ・素人の私にも何をどうしていいのか、まったく不慣れでございますが、皆様と一緒にこの際に勉強させてもらって何とかうまく進んでくれるように、足手まといにならないようにしていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございました。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは協議事項に入っていきたいと思っております。これ以降は委員長の方からよろしくお願い致します。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、協議事項の(1)策定の趣旨について、事務局より説明頂きたいと思っております。
事務局	(策定の趣旨について説明)
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいまありました「計画策定の趣旨について」、ご意見のある方は発言頂きたいと思っております。
原田	<ul style="list-style-type: none"> ・「山村振興計画」とはどのようなことをするのか、皆様お集まり頂いた方々もどのような会議なのかと思っております。「計画策定の趣旨について」ということで説明させて頂きました。一番ポイントとなり言っておきたいのは、6地域あるなかで、例えば利賀と平では違うことを行っても良い訳です。一番大事なものは、計画は作成したけれども、こんなことしようということで来年は申請するのですが、作った計画を「誰がするのか」ということがいつも問題になる訳です。立派な計画は作成されたけれども「プレイヤー」は誰なのか、と言うことが一番肝心だと思いますので、裏を返せばその地域で無理をしないで、誰がやるのかを頭において計画を作らないといけません。あまりにも大きな計画となっても誰かする人がいないと計画を実行に移せませんので、特に自治振興会長さん方、ここで話されたり、地元に戻られた場合に、その辺を注意して頂いて、「俺たちこれやろうよ」「これなら出来る」ということを念頭において意見集約して頂ければと思います。後は、公募委員の皆様方、公社の方、森林組合の方につきましては、私どもは「プレイヤー」であると考えていますので、自分たちが「プレイヤー」として地域にお手伝いができるとか、地域と結びついて出来ると思います。今までなかなか出来なかったものも、交付金で一千万円が入るので有効に使って頂ければと思います。江尻さんについてはオールラウンドとして高い水準からアドバイスを頂ければと思います。一番良くあるのは、大きな計画を作りすぎて誰がするのかというのが問題なので、振興会の方々、公募委員の方々などそれぞれが連携をとりながら「プレイヤー」の方を見つけて頂く必要があると思います。

委員長	・ありがとうございました。
委員	・「過疎地域」と「山村振興計画」との違いは何なのか。1 地区一千万円となっているが、「地域」と「地区」の表現の方法の違いは何か。
事務局	・まず「地区」と「地域」のお話ですが、指定当時はこのような名称ではありませんでした。
原田	・指定当時は「養谷村」となっていました。南砺市は合併したため、旧 8 町村を「地域」と表現し、「地区」はそのなかの一部として使い分けています。
原田	・「過疎地域」は、旧上平村、旧平村、旧利賀村が過疎地域に別の法律で指定されています。合併したことによって、城端、井波、井口、福野、福光も「見なし過疎」ということで、指定を受けています。これにより、例えば城端でも過疎事業が出来るということになっています。過疎地域と山村振興計画とリンクする部分も十分あります。過疎地域は起債を借りる時に計画をたてておかないとダメということで説明会をさせて頂いている。山村振興計画は計画をたてないと交付金がもらえないということで作成しています。2 本立てで動いていますが、途中でしっかりと連絡をとりあうようにしていきます。地元ではまた同じような話かということになります。両方に書いてあっても良いことなので、過疎地域を作成している地方創生推進課と連絡をとりあいたいと思います。過疎地域の事業には具体的な事業を書かなければならない。山村振興計画は逆にあまりこれと決めないで、これと決めてしまうと他のことができなくなるので、こんな風なものというとりまとめとして具体的な事業は別冊が良い。書き込んでしまうと書いてないものはダメということになります。どちらかというソフト事業ですから、販売所を作りたいと思った場合、建物は作れないけれども、デザイン、広報、情報発信などができます。ハードは過疎事業で行うということもできるので、事務局の方で連絡をとってしっかりと連携していきます。
委員長	・過疎事業は、この間の説明会でハード事業は任せておけということでした。
原田	・山村振興計画は 6 地域だけですが、ここはソフト事業もプラスでできると考えて頂けたらと思います。
委員	・前回の自治振興会の集会で分厚い資料を頂いて、その中から取捨選択してコピーして皆様方にお配りして、いろいろな意見ができました。皆さんが魅力なのでは一千万円という金額で、2 人や 10 人で行っている人、または指定管理者で行っている人が該当すると思っていたのですが、助成金の 2 重取りとなり不可能なのかということで確認してほしいとの話がありました。ただ、一千万円という金額なため、「しっかり話を聞いてこい」ということになりました。具体的な話は次回になるかもしれませんが、「何を聞いてきたんだ」ということになるので、具体的な話をまたお聞かせ下さい。
事務局	・昔と違って、最近の事業は地域の提案ということが補助対象となることが多いですから、活発な意見が出るのであれば、細かく精査を公平にして頂ければ良いと思います。事業全体の概要は今日に説明できますのでよろしくお願い致します。
原田	・何が出来るのか全部出してもらえれば良い。その後、この補助事業に合うか合わないかは次の話である。「プレイヤー」がいるものを一度出してもらいたい。申請は来年の 4 月以降です。計画がないと出来ないということで今年策定するものです。来年だけでなく、毎年か。
事務局	・今年の 27 年度～29 年度の 3 年間となっていますが、まだ余っている状況です。来年と再来年で行えますが、先ほどからも言うように「プレイヤー」がいなくて出来ないということが懸念されるのでお願い致します。
原田	・平成 28、29 年度と 2 年分はある。平成 28 年度に実施計画を策定しても平成 29 年度にできるということです。
委員長	・次を進めさせて頂きます。せっかく来て頂いたし、特に女性の方々には何か一言ご意

事務局	<p>見を頂きたいと思いますので、そのつもりで説明を聞いてください。 (計画書構成及び計画書草案について) (今後のスケジュールについて) (山村活性化支援交付金について)</p>
原田	<ul style="list-style-type: none"> ・お配りした資料は「自治体特選ストア」です。yahooのホームページでインターネット販売を南砺市がしております。山村振興計画で商品を作った場合、売ることも考える必要があるので紹介します。現在、13の自治体が集まって自治体がホームページを作成しているということで、お客様からすると信頼度は高くなっています。13の自治体のなかで、南砺市の売上はナンバー1となっています。資源が多くたくさん出しています。干し柿で今シーズンで300万円の売上があります。地元で売ったりしていても売上が伸びないので、今の時代はインターネット販売が多いので、市が運営して現在のところ経費は頂いておりません。ただし30万円/月以上の売上があれば、何%か納めてもらうことはしています。一般的にインターネット販売にエントリーすると2万円するが、ここにすると経費がかかりません。南砺市のホームページを出すと、上の方に流れているものがあります。そのなかで自治体特選ストアの時に押すとyahooのホームページに行きます。一度見ていただいて、インターネット販売をする場合は新たに作成する必要はないのでこれを使って頂ければ良いかと思います。売れないところは3,000円/月であるが、南砺市は40~50万円/月に売れています。
委員 原田	<ul style="list-style-type: none"> ・良いと思います。ちなみに井波のギターは売れているのか。 ・ギターはここでは売れていません。こんなものも売っているということで掲載しています。1台はインターネット販売ではありませんが、売っています。定年退職した方が自分へのご褒美として買っています。
委員 原田	<ul style="list-style-type: none"> ・一部商品であって、まだまだあるのか。 ・南砺市でも100品近くあると思います。
委員 原田	<ul style="list-style-type: none"> ・手数料がいるのか。 ・小人数で行っている主婦等の方々がインターネット販売できる訳がないので、南砺市は、そういう方々に機会を与えている。しかし市も運営費が必要ですから、ある程度の売上があれば将来は1割負担などの可能性もある。現在は市負担で無料で行っているが、将来とも市が払い続けるものでもない。
事務局 事務局	<p>(資料4について説明 意見書についてお願い)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回の第2回策定委員会の日程ですが、11月下旬ということで考えております。なお、意見書については11月10日までに頂きたいと考えております。事務局の第一候補としては第2回委員会を11月30日(月)14:00~城端庁舎202会議室と考えております。ご都合の悪い方はございませんか。 <p>(特になし)</p>
事務局 委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、11月30日でご案内の方を差し上げますのでよろしくお願い致します。 ・分かりにくいことがあったのですが、資料4の意見書について、具体的にどういうことを言えば良いか分からなかったです。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料3に事業があり来年度にまとめるのですが地域におかれましては、先行的に内々に話あって頂きたい。なかなか新たなものといっても出てこないから、昔していたものでやっていく必要があるものを整理したり、団体におかれては他事業で前に進まないものなどを関係者のなかで話あって、様式にはこだわらないですから示して頂ければと思います。単に意見を求めても進みませんからなるべく先走って進めて頂くのが良いのかなと思います。
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・やってみたいなと思うことを書けば良いのか。 ・そうです。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> 動いているものでも良い。例えば利賀では菓草を検討している。大学と連携して行っている。そのまま終わるのではなくて、この事業で実施することを考えてほしい。現在で問題になっているものを来年度に交付金で実施するようにしてほしい。現在やっていることにもう少し手を加えて良くなれば良いと思う。過去の山村振興計画を見て頂くと3ページほどで整理されている。計画をしっかりと作成していくが、書いてあるものだけが立派では困る。計画は、地区ごとの内容を書いていくこととなるので、地区でしっかり意見を出してほしい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> 11月10日までであれば後20日しかない。精一杯延ばしてもらえればいつまで延ばせるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 今のところ11月30日が次回策定委員会ですので、11月25日頃までです。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 第2回目まで出てこないと思う。振興会長の思いでも良い。3回の時に具体的なものがあれば良い。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 実は、数ページであれば作成できるので、一度作成した。それでは計画を作成しただけとなるので、計画を作成する段階から地区の方々と話し合い、このように集まって頂く場が大事と思い、半年かけて作成するものです。ハード事業でも補助事業の割合が10%ほど高くなるなどがあるので、計画としては整理しておかなければなりません。期限立法で切れたが地方創生ということもあるので10年間延長して継続していくことが決まっています。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> 何かないのか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 地区に持ち帰ってですが、私はどうすれば良いか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> どこの地区にするかということで考えてもらえれば良い。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 地区として混ぜてほしい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 公募委員として地区として両方出してもらえれば良い。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 最後は「プレイヤー」が大事。自治振興会長が入ってもらったのは地区の中心として、どの方を推薦するのかが会長が行ってもらわないと決まらない。始めから「プレイヤー」を委員することも考えたが、それでは限定してしまうということでこの形となっている。インターネット販売をしてはどうかと進めてもしない雰囲気がある。農林業の方々は生産は得意だが、販売や営業は得意ではない。そのためこのような事業を活用して行ってもらえればと思っている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 自治体特選ストアは利用させてもらっているが、注文が入ると箱だけを作ると宛先や郵送などはすべて行ってくれる簡便なシステムなので、ぜひご検討下さい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> 製品の安全性などのクレームなどは過去にあったか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 1出品者なのでない。自己責任で行っている。
原田	<ul style="list-style-type: none"> 指定した日まで届かないというのがある。土日休みというのもあるが、少しずつ改善していつている。商品の写真を撮って売らただけで、手間は少なくなっている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産米と合掌米を売っているが、オーダーのメールチェックを怠って宅配が取りに来るまで箱に入れていない時がある。
原田	<ul style="list-style-type: none"> 箱に入れるだけなので、それぐらいはしてほしい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> クロモジ茶を都市部の方から注文を受けて販売している。
原田	<ul style="list-style-type: none"> 菓草も研究しているが、2年ほどかかるというのであれば、この事業の交付金を利用して行えば良い。3年目に商売になるようにしてほしい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 農業公社としてお米を販売しているが、ちょうど新米と古米の境となっている。ある期間だけ掲載しないということができるのか。
原田	<ul style="list-style-type: none"> 「現在売り切れ中」と掲載することでできる。何月何日から販売開始などと掲載すれば良い。テクニックの1つとして「20個限定販売」などと掲載すると売れる。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ありがとうございました。時間も少ないので事務局お願いします。

事務局

・今回は第1回目ということで終了させていただきます。繰り返しとなりますが、この後、地元の方に戻られまして検討頂いて、第2回委員会も実りのあるものとしていきたいと思っておりますのでどうかよろしくお願い致します。本日はどうもありがとうございました。